

島本町立第三小学校

学校だより

令和8年2月号

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井二丁目 25-1

TEL 075-962-2521 FAX 075-962-2522

<https://www.town.shimamoto.lg.jp/site/kosodate/16155.html>

やってみたい！楽しい！を原動力に

最強寒波が押し寄せ、大人は思わず身を縮めてしまう毎日ですが、子どもたちは違います。校庭の隅の水たまりに張った分厚い氷を、指先が冷えるのも構わずに両手で持ち、宝物のように「先生に見せるねん」といそいそと教室へ急ぐ姿が見られます。何にでも心をときめかせる子どもたちの感性に、思わず頬が緩みます。

先日、「わんぱくランド」を開催しました。当日は、子どもたちの「楽しい！」という思いに包まれ、校内全体が活気で満ちあふれていました。この「わんぱくランド」は、単なる行事ではありません。本校では、子どもたちが将来、社会の中で自分らしく生きていく力を育むキャリア教育の視点からも、大切な学びの場として位置づけています。子どもたちは、「どのようなコーナーにしたいか」「誰に、どんな楽しさを届けたいか」自分たちで考え、話し合い、決定してきました。

準備を進める中では、「お客様が通りやすい動線はどうするか」「低学年にも安心して楽しんでもらうには」「待ち時間が出た時、どんな工夫をしたらいいか」など、相手の立場に立った具体的なアイデアが次々と生まれていました。

当日、お店番をする子どもたちの中には、「いらっしゃいませ！」と得意げに大きな声を出す人がいる一方で、「こういうのは、ちょっと緊張するねん」と、自分の不安を素直に打ち明けてくれる人もいました。得意なことを活かして輝く姿も、苦手なことに勇気を出して向き合う姿も、そのすべてが、子どもたちが自分自身を知るための大切なプロセスです。

また今年は、子どもたちの柔軟な発想や、デジタルを自然に活用する姿にも驚かされました。タブレット端末を使って、受付や得点管理を行ったり、入口で人数を管理したりする姿も見られました。中には、得点データをリアルタイムで共有し、景品交換をスムーズに行う仕組みを考えたグループもあり、その発想力には感心させられました。掲示物についても、校内で撮影した写真を元に、タブレットを使いこなした大人顔負けの斬新なポスターがある一方で、画用紙にマジックで工夫を凝らした温かみのあるものも見られ、自分たちの表現方法を選び取っていく頬もしさを感じました。

こうした姿の元にあるのは、子どもたちの「もっと良くしたい」「これが好き」という純粋な探究心です。本気で取り組むからこそ、意見がぶつかり、思いがすれ違う場面もありました。話し合いの途中で、なかなか折り合いがつかない場面も見かけました。それらすべてが学びです。

子どもたちが、自分が面白いと感じることに夢中になり、仲間と試行錯誤を繰り返す中で、学びは「させられるもの」から「自ら創り出すもの」へと変わっていきます。

自分の「好き」や「心が躍るもの」に気づき、その気持ちを原動力にしていく。この経験の積み上げこそが、これから社会を、多様な他者と共に歩む力になると信じています。私たち大人は、先回りしてすべてを整えすぎるのでなく、子どもたちが一つ一つの出来事を学びに変えられるよう、そっと寄り添い、伴走していくたいと考えています。保護者の皆様におかれましても、子どもたちが夢中で語る「好き」の芽を、学校と共に温かく見守り、励ましていただければ幸いです。

(校長 藪田 香織)

2月行事予定					3月行事予定			
日	曜	学校行事など	PTA・地域	下校時刻 (変更分)	日	曜	学校行事など	PTA・地域
1	日				1	日		
2	月	2年授業研2年以外13時25分頃下校 読書週間 (~2/13)		2年以外: 13:25頃下校 2年: 14:30頃下校	2	月	クラブ(最終) クラブ見学(3年)	
3	火	SSW	校庭開放		3	火	SSW 6年生を送る会(2限)	
4	水		PTA運営委員会		4	水	卒業式式場設営	1年~2年 14:30頃下校 3年~6年 15:25頃下校
5	木		校庭開放		5	木	地区児童会	
6	金	Jアラート④	校庭開放		6	金	三味線体験(4年5・6限)	
7	土				7	土		
8	日				8	日		
9	月	クラブ⑦・放課後学習(2・3年)	校庭開放	1年~4年 14:30頃下校 5年・6年 15:25頃下校	9	月	放課後学習(2・3年)	
10	火	参観・懇談(1・2年) SSW	校庭開放		10	火	SSW SC	
11	水	建国記念の日			11	水	岩永SC	PTA運営委員会
12	木	参観・懇談(3・4年)	校庭開放		12	木	卒業式予行(1~4年14時すぎ下校)	
13	金	参観・懇談(5・6年)	校庭開放		13	金	1年~4年 14:00すぎ下校 5年・6年 15:25頃下校	
14	土				14	土		
15	日				15	日		
16	月	委員会(最終) 放課後学習(2・3年) 4年施設理解学習	校庭開放	1年~4年 14:30頃下校 5年~6年 15:25頃下校	16	月	放課後学習(2・3年)	【1~4年・6年】 13:20頃下校
17	火	SSW	校庭開放		17	火	卒業式前日準備 給食最終日(6年) SSW	【5年】 15:20頃下校
18	水	岩永SC 3年歴史資料館見学	校庭開放		18	水	卒業式(予定)	5年・6年のみ登校
19	木	全校集会 不審者対応訓練	校庭開放		19	木	短縮5限	
20	金	教職員研修のため14時すぎ下校	校庭開放	全学年14時すぎ下校	20	金	春分の日	全学年14:00すぎ下校
21	土				21	土		
22	日				22	日		全学年14:00すぎ下校
23	月	天皇誕生日			23	月	短縮5限 給食最終日(1年~5年)	
24	火	SSW	校庭開放		24	火	修了式 SSW	
25	水	4限授業(全学年13時15分頃下校)		全学年13:15頃下校	25	水		全学年11:40下校
26	木	体験入学(3限)	校庭開放		26	木		
27	金		校庭開放 学校協議会④		27	金		
28	土				28	土		
					29	日		
					30	月		
					31	火		

学校教育アンケートへのご協力、ありがとうございました。結果についてお知らせいたします。

児童(数値は肯定的回答の割合を示しています。)		
1	学校へ行くのが楽しい。	89.9
2	学校で自ら進ん学習に取り組んでいる。	82.1
3	学校で、コンピュータやプロジェクター、タブレット端末を使った授業をしている。	90.1
4	通知表の内容は、納得できる。	84.3
5	自ら進んで学習(宿題、予習・復習、自主学習など)している。	84.3
6	読書をよくする。	73.6
7	学校では、役割を果たすことの大切さ(かかり活動や当番)や自分らしく生きることや将来について考える機会がある。	82.2
8	学校では、お互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学ぶことができる。	89.1
9	学校は、いじめ防止の取組について学ぶことがある。	81.2
10	自分の健康を考えて、給食を好き嫌いなく食べようとしている。	83.8
11	外国語の授業の時間は楽しい。	87.3
12	友だちと話したり、遊んだりすることは楽しい。	96.2
13	学級や学校の決まりは守っている。	89.2
14	友だちやクラスの仲間と協力して取り組んだ体験がある。	92.6
15	先生たちは、私たちが困っていることについてよく対応してくれる。	87.9
16	教室はきれいにそうじができると思っている。	91.7
17	あいさつをしようと心がけている。	87.3
18	地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか対応できる。	94.9
19	学校の図書館をよく利用する。	66.3
20	自分でこれは得意だと思っていることがある。	93
21	これだけはやろうと努力していることがある。	90.7

◎・○…前年度と比較して、5%以上肯定的回答の割合が増えたもの。
 △…前年度と比較して、5%以上肯定的回答の割合が減ったもの。

保護者(数値は肯定的回答の割合を示しています。)		
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	89.1
2	学校は、子どもが進んで学習に取り組むように工夫している。	93.2
3	学校はICT機器(コンピュータやプロジェクター等)を使ったわかりやすい授業を行っている。	80.7
4	通知表は、よくわかる。	81.8
5	学校は、自主学習の取組を推進している。	80.3
6	学校は子どもに読書の習慣がつくよう指導している。	86.4
7	学校は、学年に応じて、子どもが生き方や将来について考えられるような指導(キャリア教育)を行っている。	68.2
8	子どもはお互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学んでいる。	88.7
9	学校は、いじめ防止・対応の取組を行っている。	72.7
10	学校では、「食育」についての取組を推進している。	78.1
11	家庭でも、読書の習慣がつくように心がけている。	74.2

○児童の回答について

昨年度までは、アンケートの対象は4~6年生となっておりましたが、今年度よりアンケートの対象が全学年となりました。昨年度との比較において、肯定的回答の割合が減ったものの中には、「ICT 機器の活用」「自主学習の取組」など、低学年児童が、今後、たくさん取り組んでいくものもありました。

しかしながら、質問項目9、「いじめ防止の取組」など、学年に関わらず取り組んでいるものでも昨年度との比較で、肯定的回答が下がったものもみられました。いじめ防止の取組は、1 学期には全学年でいじめ防止リーフレットを活用し、実施しています。今後は、2 学期以降も、学年の実態に合わせながら、リーフレット等の資料を活用して取り組んでいこうと計画をしています。

肯定的回答の割合が高かったものには、「友だちと話したり、遊んだりすることは楽しい」や「自分でこれは得意だと思っていることがある」などがありました。三小では、「一人ひとりのもちあじ」を大切にする集団づくりを行っています。子どもたちが、ありのままの姿を認め合いながら、自分も相手も大切にする土壤を育んでいます。今後も学校全体で「もちあじ」を大切にすることを進めるとともに、子どもたち自身が定期的に自分も人も大切にすることを振り返る機会を設けていきたいと考えています。

また、「地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか対応できる」は、低学年も含め、高い数値でした。1 月に実施した避難訓練でも、子どもたちの素早い行動が見られました。命を守る安全教育を今後も大切にしていきます。

○保護者の回答について

「ICT 機器の活用」「キャリア教育の推進」「いじめ防止・対応の取組」について、昨年度との比較で、5%以上の肯定的回答の割合が増えました。授業参観で様子を見ていただいたり、4 月の懇談会や学校からのお便り、学校ブログなどで取組を発信した内容を受け取っていただいたりしたことが、保護者の皆様にも取組への理解を深めていただいたと捉えています。引き続き、学校での取組みを知っていただく機会を設けていきます。また、各家庭で児童と保護者が話し合えるような取組みも進めていけるように努めています。

5%以上の肯定的回答の割合が減った「自主学習の取組の推進」については、学びウィークをより充実したものになるよう推進したり、タブレット端末を活用した自主学習を推進したりしていきます。子ども一人ひとりが、自主学習として、自分に合った学習に取り組めるように努めています。

学校教育アンケートにより、本校の成果や課題が確認できました。これまで「学校教育アンケート」の結果もふまえながら、よりよい学校を目指し、学校行事の実施方法の見直しや授業づくりに取り組んできました。

今後も、今年度の「学校教育アンケート」で記述欄にいただいた意見や回答いただいた結果をふまえながら、組織的に取組みを進めていきます。今回のアンケートで把握した子どもたちの強みや課題、保護者のみなさまのご意見・ニーズを魅力ある学校づくりに生かしてまいります。

今後も本校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

【お知らせ】 「化学物質過敏症」の児童生徒に対する教科書「対応本」について

教科書を使用することで、体調が悪化する「化学物質過敏症」の児童が安心して授業を受けられるように、文部科学省委託事業として「化学物質過敏症の児童生徒に対する教科書対応」事業を行い、必要に応じて「対応本」を作成・提供しています。

詳細は、右記 QR コードまたは下記 URL より、文部科学省ホームページ「化学物質過敏症の児童生徒に影響の少ない教科書対応」をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1356273.htm

※希望のご家庭に関しては、2 月 4 日（水）までに学校にお知らせください。

